公務員ビジネス専門学校　令和８年度事業計画書

令和８年度　教育と運営目標

公務員養成を専門として開設された本校は、「社会奉仕の心」「真心を込めて」「日々向上の努力」という、校訓を基礎に、時代のニーズ合わせた教育内容を改新しつつ、実践的な実務能力のスキルアップを目標に掲げて今日に至っている。２００４年には、主な就職先が消防官である、「救急救命士」を養成する学科を併設し、より一層高齢社会に適応できる人材育成に取り組んでいる。

本校の学生募集においては、昨今の少子化や現在では収束した新型コロナウイルスによる経済の停滞並びに円安による厳しい経済事情の中、公務員試験の合格実績の積み重ねに加え、国家資格「救急救命士」の高資格取得率を確保する等にも関わらず、一部の学科では定員に満たない厳しい状況となっている。

そのような中、本校は、入学した学生の満足度を維持する為、校舎内の大規模な改修工事に加え、次年度以降に向けて、カリキュラムの改編などを計画しており、社会情勢に即応できる教育環境の整備をすすめている。

教育目標

本校の教育の特徴は、永年の経験・実績を積み重ねたノウハウや、第一線で活躍経験のある教員陣等による高いレベルの専門技術教育を学生に教授し、理解力のアップやグループワークによるコミュニケーション能力の開発、それに加え、公務員としての本質とも言える「奉仕の心」を育むことである。この教育の結果、広く社会(特に官公庁)に認知・評価を受けていることが本校の存在意義に繋がっているものである。

1.「３つの教育 policy」

以下を教育 policy として、学生指導にあたり、教員陣と学生の交流を通して、幅広い視野の育成と人間性を高めていく。

(1)資格取得教育

資格は専門的・実践的な力の証明となる。無駄のないカリキュラム編成により、出題傾向に即した講義と実践に即した模擬試験により、学生の学力向上を計っている。

(2)コラボレーション教育

公務員の本質とも言える「奉仕の心」を育むため、地域社会へのボランティア活動はじめ、クラス担当教員によるホームルーム活動又、スポーツ活動を通して、連帯感の育成等により、理想的な人間性の育成を計っている。

(3)実務・実践教育

公務員の職種は幅広く多岐に渡るため、学科により、取得可能な資格をセレクトすることにより、卒業後、採用先での自らの仕事や方向性を創造できる能力を育成する。

2.教育推進目標

３つの教育 policy を推進するため、具体的な取り組みとして４つの教育推進目標を掲げる。

(１)出題傾向の核心を捉えるため、基礎教育の徹底と模擬試験による反復演習を実施。
(テキストの例題＝基本解法の習得)→(週１回模擬試験を受験＝応用力の養成)

(２)町内の清掃活動、町内会のイベントへの参加、更に市内で実施されるイベント活動のサポートなど、学科・部門を超えたコラボレーション活動を推進し、多角的な視野を育成

(３)各学科における相応しいレベルの知力・体力養成等、課外活動を含め育成する。

(４)Googleclassroom 等の積極的な活用により、ネットワークの仕組みを理解の上、迅速な情報共有を身に着ける。

3.教育運営

(１)教育内容とその手段について

教員間の連携体制を強化の上、本校の教育メソッドの確認を実施する。

① 授業の進め方・進度が教科毎にどのような内容で、どのような方法で行われているのか、「教科会議」「教科責任者による授業参観」などの側面から確認する。

② 各々の授業科目が、各学科の中でどのような意味を持つのかを「教育推進目標(資格取得)」に照らして明確な位置付けをし、各担当教員に共通認識を得る

③ 本校独自のカリキュラムに関して、その特長や有効性を基幹教員は十分に理解・認識した上で、科目担当教員や学生にもその重要性の理解を深めるよう徹底する。

④ 学内の教育システム、学生満足度の高い評価を受けた教員独自の教育手法を確認し、情報共有の上、学内での一般化・体系化を推進する。

(２)各学科における行催事計画について

学内各組織における行催事は、３つの教育 policy に基づき各部署が計画を立案・策定し計画実行に移す。

① 行催事は、教職員の研鑽若しくは学生の教育に還元されるものであり、常に、スキルアップを具現化できることを目指して策定する。

② 各学科は、育成する人物像に的を絞り、常に本校の教育方針との整合を確認する。

(３)日常教育運営について

学内における教職員の業務は、学生と学校が掲げる教育方針のためにあり、通常業務は、学生にとって公正かつ有益性が高くなければならない。

① 全学生に対して、公平さを維持するため、基幹教員は情報の共有化を計るため、十分な連絡、必要な確認を怠らないようにしなければならない。

② 能力差のある学生に対するフォローは、クラス担任が積極的に関与し、各教員への情報提供等により、学生が満足できる教育環境を構築する。また、能力の

高い学生については、グループワーク等において更なるレベルアップを計る。

③ 学科長は、それぞれの学科内における基幹教員等の担当業務、勤務状況(出勤日、シフト勤務等)を確認し、学内行事(学生指導・運営・行催事)に空白等生じないよう、各業務が円滑・確実に実施できるように推進する

④ 教員と学生間のコミュニケーションは、教育上必須であることから、円滑かつ適格なコミュニケーションが求められるものである。従って、教員にその能力に欠けると認められる場合は、人事異動等を持って対処していく。

⑤ カリキュラムは時代のニーズに合わせて、毎年見直ししていくものとし、学科を横断する合同授業の推進含め、新たなクラス運営の検討を進めることで、教育効果の充実を図るものとする。

(4)学生指導について

有資格者(教員免許・救急救命士等)による担任制を敷いている本校では、学生へのアドバイスはよりきめ細やかであり、実務レベルの社会人教育という観点において成果を上げている。しかしながら、学生の多様性や厳しい社会情勢において、初志貫徹させるための指導方法、保護者との連携(就学情報の定期的な報告)など、更なる強化を図り、より一層の改善を推進していく。

(5)教育内容の改善点について

学生の動向、時代にニーズを踏まえ、それぞれの学科における育成人材像を踏まえ、その目標を達成するための教育内容を吟味・研究を重ね、改善を加えていく。

① 基礎教育の充実・徹底による応用力の強化養成

② クラス担任による学生理解度の分析と迅速な改善

③ 卒業生の就業状況の情報収集及び分析により就職に直結する教育システムの開発

(6)施設・設備について

学生サービスへの向上・利便性を重視の上、オンライン授業の導入に不可欠なインフラの整備を早急に進める。

令和８年度事業計画概要

1. 教育の向上

(1) 教育環境(カリキュラム、科目、教員等)を精査し、部外者からみても分かりやすく、魅力溢れる学科の構築を推進する。

(2) 専門教育に加え、豊かな人格形成の場となるよう、教職員一同、学生との円滑なコミュニケーションを目指す

(3) 特別教員による基幹教員への講習会等を通し、基幹教員の講義フィールドの拡大を推進する

(4) 地域ボランティアへの積極的な参加により、地域社会への貢献度を上げる。

2. 学生支援

（1）学費分割制度の導入、新入時各種特待生制度
（2）就職支援プログラム(業種説明会の学内実施等)

3. 教育環境の整備・充実

（1）施設・設備
① 学内各種機器の修繕
② トイレ内全面改装・コミュニティールームの設置、エントランス内装補修…他

（2）機器
① 体力育成用機材のメンテナンス
② PC 教室のシステムのバージョンアップ
③ 高規格救急車のメンテナンス
④ 高研シミュレーション機材のメンテナンス　他

（3）ネットワークシステムの維持・管理
サーバーホスティング、インターネット、サーバー保守、LAN 運用保守、PC 教室メンテナンス、教職員ネットワークシステム保守、ソフトウェアライセンス更新・契約　その他

（4）維持管理
教育・事務用消耗品、電気・ガス・水道、清掃衛生管理、施設保守メンテナンス…他

※この用紙に加え、「資金収支予算書」や「事業収支予算書」等が添付されます。